

おもな学校感染症一覧

2023年5月11日更新

○第1種の感染症 治癒するまで出席停止

エボラ出血熱、クリミアコンゴ出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、ジフテリア、急性灰白髄炎（ポリオ）、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザ（H5N1）など

○第2種の感染症 診断がついたら速やかに学校に連絡する。医師の指示に従い出席停止期間を守る。

| | |
|-----------------|---|
| 新型コロナウイルス感染症 | 発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで (発症した日や症状が軽快した日の翌日から起算すること) |
| インフルエンザ | 発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで |
| 百日咳 | 特有の咳が消失するまで、または5日間の適切な抗菌剤による治療が終了するまで |
| 麻疹（はしか） | 解熱後3日を経過するまで |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | 耳下腺が腫れて5日を経過し、かつ、全身状態が良好となるまで |
| 風疹 | 発疹が消失するまで |
| 水痘（水ぼうそう） | すべての発疹が痂皮化するまで |
| 咽頭結膜熱（プール熱） | 主症状が消失し、2日を経過するまで |
| 結核 | 医師が感染の恐れがないと認めるまで |
| 髄膜炎菌性髄膜炎 | 医師が感染の恐れがないと認めるまで |

○第3種の感染症

| | |
|-------------|------------------------|
| コレラ | 病状により医師が感染の恐れがないと認めるまで |
| 細菌性赤痢 | |
| 腸管出血性大腸菌感染症 | |
| 腸チフス | |
| パラチフス | |
| 流行性角結膜炎 | |
| 急性出血性結膜炎 | |

○第3種（その他）感染症

| | |
|-------------|-------------------------|
| 溶連菌感染症 | 病状により医師が感染の恐れがないと認めるまで |
| ウイルス性肝炎 | |
| 手足口病 | |
| ヘルパンギーナ | |
| マイコプラズマ感染症 | |
| 流行性嘔吐下痢症 | |
| アタマジラミ | 出席可能（タオル・くし・帽子等の共用を避ける） |
| 伝染性膿痂疹（とびひ） | 出席可能（プール、入浴は避ける） |